

市長	副市長	局長	次長	係長	係	記録

【所属名：ガス水道局】

【会議名：糸魚川浄化センター環境保全会議】

開示

一部開示

(理由:条例第 条第 号 該当)

不開示

時限不開示 (開示: 年 月 日)

## 会 議 録

作成日 平成 29 年 5 月 31 日

日	平成 29 年 5 月 26 日	時間	13 : 25 ~ 14 : 45	場所	糸魚川浄化センター 2 階会議室
件名	協議事項 (公開)				
	議事 (1) 報告事項 ① 浄化センター及び公共用水域水質調査等について ② 臭気調査について ③ ホタル育成について ④ 修繕工事について ⑤ 水洗化率について (2) その他				
出席者	<b>【出席者】</b> 13 人 見邊会長、金子副会長、比護委員、吉岡委員、水島委員、小林委員、猪又委員、伊藤委員、青木委員、山岸委員、楠田委員、木嶋委員、吉田委員 <b>【事務局】</b> 9 人 織田副市長、木村局長、山口次長、中村係長、谷口係長、山岸主査、佐藤主任技師、朝日技師、林主査 <b>【同席】</b> 2 人 糸魚川二幸 齊藤、石橋				
	傍聴者定員	無	傍聴者数	0 人	

### 会議要旨

- 開会 (13 : 25) 進行 谷口係長
- 委嘱状の交付
- あいさつ 織田副市長
- 環境保全会議の役割について 説明 事務局

#### 【質疑】

(委 員) 名簿では学識経験者が 3 名だが、規程では 2 名になっている。違いはあるのか。

(事務局) 規定では必要に応じ委員の追加ができるようにしており、昨年度からホタルの育成指導ということで増員している。

- 協議事項

環境保全会議会長・副会長の選出について

会長に見邊清市委員、副会長に金子榮一委員を選出

## 6 議 事

### ① 浄化センター及び公共用水域水質調査等について 説明 事務局

#### 【質疑・意見】

特になし。

### ② 臭気調査について

#### 青木パトロール員説明

月1回パトロールをした。竹ヶ花川への放流地点では、楽に確認できる臭いとか、処理水の臭いとわかる程度の状況であった。不快感は少ないが、それなりに強い臭いで過去も同様である。また、アクアホールから浄化センターに通じる通路で5月にわずかな臭いしたが、風向きによるものではないか。

竹ヶ花川への放流地点で臭いを分散するため、塩素処理後の放水口に開口部を設けたが、今年の1月から3回の測定では全く臭いを感じなかった。

以後、事務局説明

#### 【質疑・意見】

(委 員) 開口部を設けたものの、竹ヶ花川への放流地点では臭いが減っておらず、開口部でも臭いはしない。臭いは処理水の流れに乗って排出されている気がするがどうか。

もう1点、汚泥棟付近のマンホールの蓋が浮き上がって臭いがしていた。蓋を応急的に補修したが、浮き上がった原因や対策について聞かせてもらいたい。

(事務局) 1つ目は、水の流れに従い、臭いも流れていくと想定し、開口部を設けることで拡散できるかと思ったが、今のところは効果が無い状況である。

2つ目の汚泥棟付近の蓋だが、そこは汚水が下を流れており、硫化水素や湿気等で錆びてガタついていた。とりあえず目地をしたが、同様な鋳物蓋では同じ結果になることから検討させてもらいたい。

(委 員) 竹ヶ花川への放流地点の臭いは、異臭まではいかないのか。地域の人たちは、非常に気になる位なのか。また、その原因を捉えて対策をしているのか。

(事務局) 1点目は、歩いてガード下をくぐると処理水の特有な臭いがする。

風向きとか風が淀む時には臭いがわかると思うので、迷惑をかけていると感じている。

その原因だが、悪臭防止法の4大悪臭については問題がなく、2-メチルイソボルネオールという、墨汁のような臭いが原因ではないかと考えている。

これは未処理の状態で出る物質ではなく、処理する中で発生する。

今の施設では対策が難しく、新しい技術とか薬品を使って抑えることも検討しながら対策を考えていきたい。

(会 長) 私も過去に臭気調査をしたことがあり、今と臭いの状況は変わっていない。

当時の会長から市に具申してもらったが、高度処理が必要で対応できないという回答の元、そのまま進んできている。

私は付近住民から苦情を受けたことは、まだ一度もない。

(委 員) 供用開始してからこれだけ経っていても、対策がわからないというのはまずいのではないかと思うし、それなりの対策を打っておかないといけないという気がする。

(委員) この臭気は、ここの特有なものなのか、それとも他の地域でも同じような臭いで処理を行っているものなのか。

(事務局) この臭いは糸魚川浄化センターで感じられる。一方、青海とか能生は違う処理方式のため、別の臭いが出ている。親不知や市振も別の方式となっている。

この匂いは処理することで出てくるものであり、処理の程度を変えれば臭いの状況が変わるかもしれない。この辺りを検討しながら、対策を考えていきたい。

(事務局) 処理水の吐け口がガードの所に出ている。しかし、他の排水先は川へ放流され、人が普段近づけないため、臭いがわからないこともあると思っている。

(委員) 住民から、このような状態になっているのに対策がわからないと言われるのはどうかと思ったため聞いた。

体に害が無ければいいのではないかと思う。

(会長) 他の施設も見学をしたことがあるが、特有の臭いだった。正直、ああいう澄んだ臭いでは無い。

(委員) 竹ヶ花川への放流地点と同じ臭いはどこからするのか。処理した水を出した時からするのか。

(事務局) 処理をした水は同じ臭いがする。最終沈殿池では広く空いているため臭いをあまり感じないが、水を嗅ぐと同じ臭いがする。

放水口は、臭いが水路でまとまりながら出ているものと見ている。

(委員) 竹ヶ花川の河口の海川でも同じ匂いがする。そこで臭うということは、水自身が臭うことだと思う。

(事務局) 河口まで行く前に拡散するので、そんなにわからないと思っている。

(委員) 逆に海川の所でもものすごく臭いがする。

(委員) 竹ヶ花川から海川に合流する地点に水門があるが、同じ位の臭いがする。また鯉を飼っている池の方も同じで強い臭いがする。

(委員) 水自身が臭うと思う。それを流しているのだから、川へ行って臭いが出るのは当然でないか。

(事務局) 処理水は全部この匂いがする。

(会長) やはり狭い範囲と拡散した中で嗅ぐのでは違う。

(委員) 海川の出口でも、十分臭いがする。流れに段差があるとまた臭う。

(委員) 今説明を受けた中では、汚水を処理した水を流す。その時に臭いの原因となる可能性がある物質によって臭気が生じるという説明があった。

悪臭防止法で指定する特定悪臭物質（下水処理場）の基準は守られている。

今の処理施設では除去することは難しいという説明もあった。処理をした水を流しているわけだから、排水口だろうと河口だろうと同じ状況が発生するのは、間違いないと思う。

だから、資金をかけて改修しない限りは解決できないと回答された上で、どういう対策を取るか論議された方が良い。

(委員) 下水処理水の臭気の原因となる可能性と知っているが、原因はわからないのか。対策を打つには何が原因か早くはっきりされた方が良い。

(事務局) いくつかの浄化センターでも、同様な臭いがするという話があった。

それらの処理場では、臭いを分析し、2-メチルイソボルネオールという物質が人の鼻で感じる位出るとのことで、糸魚川浄化センターの臭いの原因はどういうものなのかを探してきた。

清掃センターで生し尿を処理し、最終沈殿池から出た時も同じ臭いがする。このため、汚水やし尿等を処理した時には、臭いはあるものだと感じていた。

これをどのように処理するかは、これからの問題と思っている。

(会 長) この件に関しては、結論には当然至らないと思うし、試行錯誤をしながら原因をたどるしかないので、時間がかかる問題だと思う。

今後も勉強をしながら解決の方向に向かいたいと思うがいかがか。

(事務局) 今すぐ解決できる問題ではない。

今回対策の一つとして試験的に開口部を設置したが効果は無い。しかし、今以上に高度処理をするという状態ではなく、臭いについては調査を進める中で、対策がとれるようであれば取り組んでいきたいと思う。

### ③ ホタル育成について 説明 事務局

吉田委員の補足説明

昨年からホタルの飼育に力添えになればということで委員に参加した。

一番の問題は処理水でカワニナが育つかどうかということであり、昨年から取り組んできた。

結果として、処理水でもホタルのエサとなるカワニナが生育できることがわかり、一つの大きな成果だと思っている。

カワニナが育つために、少し条件を整備してみた。

水質の問題は何とかなってきている。次に、定期的にエサを与えて稚貝が生まれるようになり、先が見えてきた。そして水温。去年の場合、平均気温は意外に高くなく、カワニナは大丈夫であったのかと思う。

今の課題は、処理水の中でカワニナは生きるものの、ホタルの幼虫が生きるかどうか。

今年は、ホタルの成虫から卵を取ってホタル舎の中に幼虫を放したいと思っている。

市への要望だが、ホタル・カワニナも生き物なので、関心とか熱意がないとすぐ育たなくなる。だから、原点を忘れずに熱意をもって取り組んでいただきたい。また、必要な予算を計上し、担当者が変わっても対応できるように位置づけをしてもらいたい。

とにかく、ホタル舎の中でホタルを飛ばすことを喫緊の課題にしていくことと見ている。

#### 【質疑・意見】

特になし。

### ④ 修繕工事について 説明 事務局

#### 【質疑・意見】

特になし。

### ⑤ 水洗化率について 説明 事務局

#### 【質疑・意見】

(委 員) どういう世帯の方が未接続なのか教えてもらいたい。

(事務局) やはり高齢者の世帯とかが非常に多くなってきている。中には世帯の登録はあるが、行ってみると空き家という状況もあった。

個々の財政状況等もあるが、早めにつなげてほしいとお願いしていく。

市は景気対策事業としてリフォーム補助なども行っているが、この際には活用の呼びかけをし、今後も接続率の向上に努めて行きたいと考えている。

(委員) 高齢者世帯が多いということで、トイレも和式が多いのではないか。お年寄りは膝を曲げるの大変。そういうことも含めて、もちろん高齢者世帯という収入も少ないと思うし大変だと思うので、支援をしてあげることが必要かと考えるので、意見として申し述べさせていただく。

(事務局) 福祉でも介護保険制度等の関係で住宅のリフォーム制度などもあり、そういうところとも協調しながら進めたい。下水道の直接の補助制度は難しいが、住宅リフォームだとかの中で呼びかけをしていきたい。

## (2) その他

(事務局) 今年もホタルが飛ぶものと思っている。いい時期に委員の皆様にお声を掛けさせていただくので現状を見ていただきたい。

(委員) 2つ要望とか宿題だが、まず一つ目は浄化センターが整備されてから二十数年たっている。最新式の浄化施設についてよく勉強してもらい、今あるべき姿を頭に描きながら施設の管理に努めてもらいたい。

もう一点は、ホタルの件。あくまでもホタルを育てることが目的ではなくて、地域の皆さんに受け入れられるよう環境を整えるということが目的と考えている。

投資をして行くなら臭気の問題だとかにコストをかけることも一つの考え方なので、もう少し広い視点で、原理原則は何かとよく考えて浄化施設の管理に努めてもらいたい。

(会長) 貴重な意見だと思う。心しながら一つそれに向かって解決できるようお願いしたい。